

KIWAMI



Kiwamiはいくつかの楽しくて不思議なことが行われる、フィルターペダル。

お互いに逆の方向へ動く2つのレゾナンスバンドパスフィルターを搭載しています。

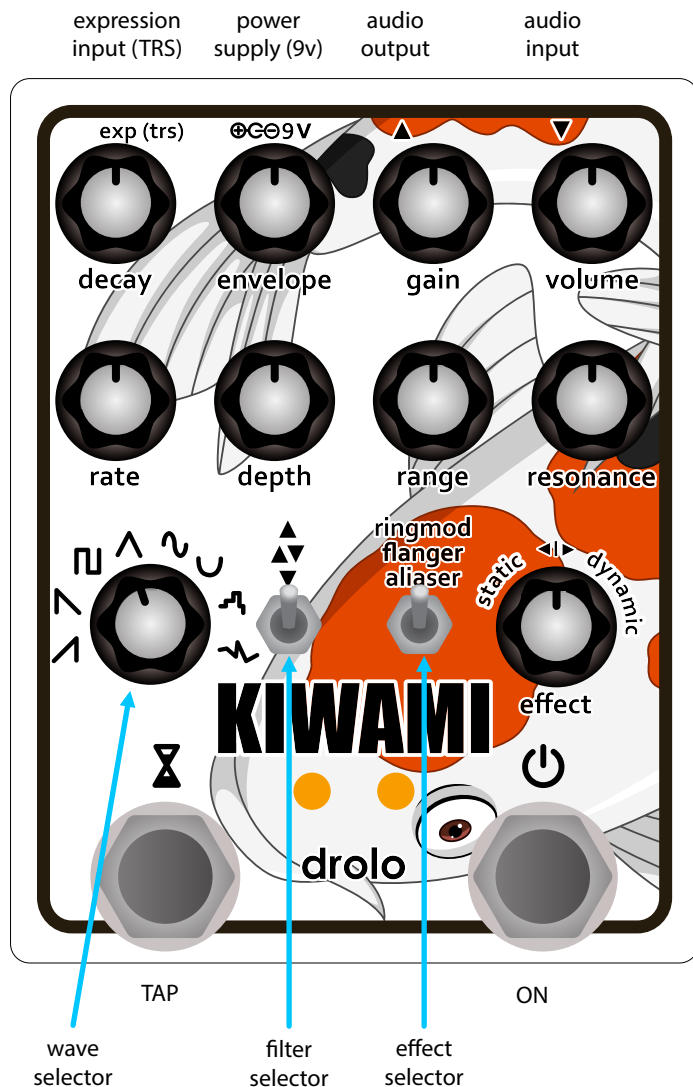
各フィルターの個別使用はもちろんOK。混ぜるとボーカルのような、ボコーダーのような、トーキングモジュレーターのような。

フィルターはLFOやエンベロープフォロワーでのモジュレーション、または固定、その3つを混合することも可能。

フィルターセクションの前にはゲインステージがあり、非常に大量の歪みを追加できます。

更にリングモジュレーション、フランジャー、エイリアサーの3つのついでエフェクトを搭載。フィルターと共に使用することであらゆる「普通じゃない」サウンドを作ります。

Controls



decay
入力後にエフェクトがフェードアウトするまでの時間を設定。アタックにも影響します。

envelope
エフェクトがプレイのダイナミクスに反応する感度を決定。

gain
最小ではゲインは0。ゲインを上げると歪みと音量が上がっていきます。

volume
ペダル全体の出力ボリュームを設定。

rate
LFOのレートを手動で設定。

depth
LFOのデプスを設定。

range
フィルターの周波数レンジを設定。EXP入力からも制御が可能です。

resonance
フィルターのレゾナンスを設定。上げるとより強調されたエフェクトとなります。最大付近ではフィルターが発振します。

wave selector
LFOを8種の波形から選択。

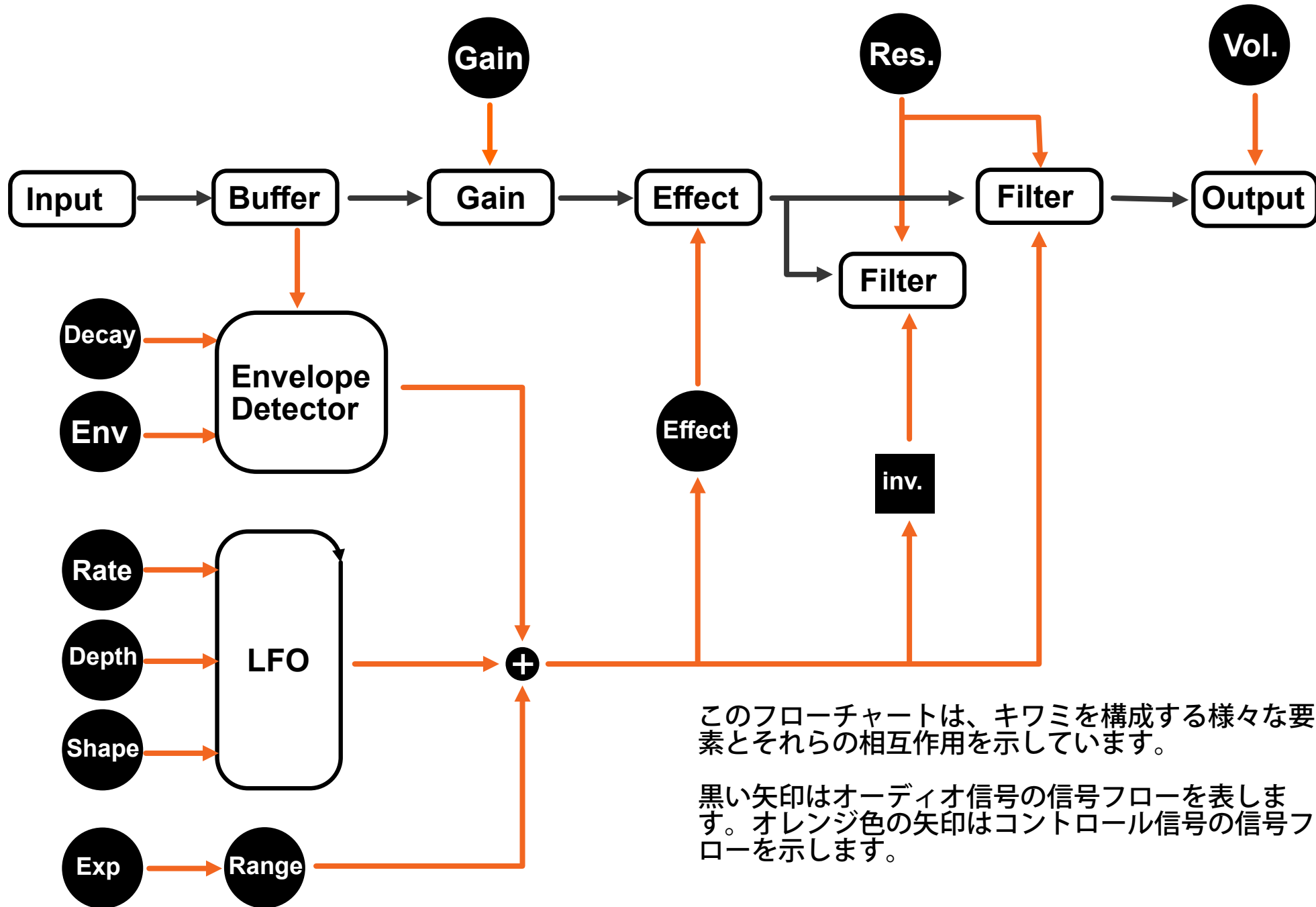
filter selector
フィルターを上スイープ、下スイープ、もしくは両方を選択。

effect selector
リングモジュレーション、フランジャー、エイリアサーの3つからエフェクトを選択。

effect
To the left (static), the given effect parameter will be set manually by the effect knob.
左(static)では選択したエフェクトはeffectノブで手動で制御します。
右(dynamic)ではエフェクトはエンベロープやLFOで制御され、effectノブでその度合を設定します。
12時ではエフェクトは無効になります(フランジャーを除く。後ほど解説します)

ON footswitch
エフェクトのオンオフを切り替えます。
0.3秒以下の短いタップでは、通常のラッチ動作となります。
0.3秒以上押すとモーメンタリー動作となります。

TAP footswitch
LFOのデプスをタップで設定します。



The Filters

KIWAMIは2つのバンドパスフィルターから構成されています。1つは上スイープ、もう1つは下スイープです。Filter Selectorスイッチでどちらか一方か、両方同時に使用するかを選択できます。

LFOまたはエンベロープフォロワーが適用されていない(depthとenvelopeが最小)のとき、rangeノブでフィルターのカットオフを手動で設定できます。

resonanceを上げるとフィルターのサウンドがより激しく強調されます。高い設定では発振や叫びのようにも。かなり音量が上がるので注意してください！

LFO

depthはLFOの振幅の幅を決定します。最小ではLFOが無効、フィルターやエフェクトに影響しません。

wave selectorノブでLFOの波形を選択できます。ランプアップ、ランプダウン、スクエア、トライアングル、サイン、lump、ランダムステップ、ランダムスロープ。

LFOのレートはrateノブか、TAPフットスイッチで設定できます。

Envelope follower

envelopeコントロールはフィルターが貴方のプレイのダイナミクスに反応する感度を設定します。最小ではエンベロープはフィルターやエフェクトに影響しません。rangeノブでエンベロープフォロワーのスタートを調整し、フィルターのサウンドを明るく/暗くすることができます。

decayはエンベロープのスムーズさを変更します。低い設定では短いディケイに瞬間的なレスポンス。高い設定では長いディケイにスムーズなレスポンスとなります。

The Effects

KIWAMIにはリングモジュレーション、フランジャー、エイリアサーの3つのエフェクトが搭載されています。

effect selectorスイッチでエフェクトを選択します。エフェクトを適用せずフィルターのみ使いたい場合は、ringmodを選択し、effectノブを12時にするのがベストです。aliaserでも同じようにできますが、エフェクトをオフにする12時の位置を探すのは若干難しいかも。flangerではeffectノブが12時でもエフェクトが常に有効です。

エフェクトは2つの方法で制御ができます。

- effectノブを12時から左(staticセクション)へ回すと、選択したエフェクトの特定のパラメーターを制御します。

- effectノブを12時から右(dynamicセクション)へ回すと、コントロール信号(LFO、エンベロープ、range信号の合算)がどれだけフィルターに行くかを調整し、選択したエフェクトの特定のパラメーターへ影響します。

ringmodではeffectノブとコントロール信号はリングモジュレーションの周波数に影響します。

flangerではeffectノブとコントロール信号はフランジャーのフィードバックに影響します。他の2つのエフェクトとは異なり、flangerはeffectノブが12時でも常に有効で、コントロール信号はフランジャーのディレイタイムに影響します。可笑しいピッチシフトやビブラートとなります。

aliaserではeffectノブとコントロール信号はエイリアシング量に影響します。

Gain

gainノブが最小位置では、オーディオ信号へのゲイン追加はありません。上げるにつれ歪みを追加します。ボリュームも同時に上がるので、volumeノブでの調整が必要になるはずです。

EXP input:

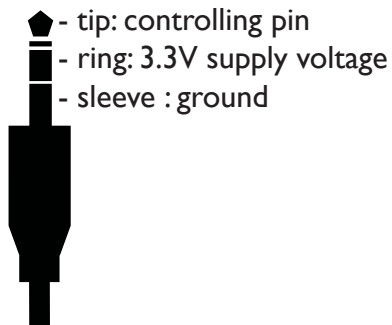
EXPペダルまたはコントロール信号(CV)を使ってフィルターレンジの制御が可能です。エンベロープとLFOを0にすれば、ワウのように使用もできます。

外部のEXPデバイスがペダルに接続されている場合は、rangeノブはEXP入力 of 最大値を決定します。

標準的なTRSプラグを使ったEXPペダルやデバイスならほとんどが問題なく使用できます。抵抗値10kまたはそれ以上がベストです。

EXP入力にはTS(モノラル)プラグまたはケーブルは使用しないでください。ペダルを損傷する可能性があります。標準フォンのTRS(ステレオ)ケーブルのみご使用ください。

以下が標準的なTRSコネクションです。



EXPの代わりにコントロール信号(CV)を使う場合、3.3Vを超えないようにしてください。ringをフローティングさせたTRSケーブルが必要です。

EXP入力にその他のデバイスを繋ぎたい場合は、別途お問い合わせください。

Power Supply:



このペダルは9VDCセンターマイナスのパワーサプライで動作します。最も多くのギターペダルで使われている電源タイプですが、電圧と極性は常に確認をしてください。

ペダルに高い電圧を入力しないでください。

このペダルは高周波で動作するデジタルプロセッサーを使っているため、アイソレートされていないパワーサプライやデジチェーンで使う場合は少しノイズが乗ることがあります。これはペダルをバイパス時にも発生します。

これはデジタルプロセッサーを持つペダルでは一般的な問題です。アイソレートされた電源を使うことがベストな解決方法です。

Specs:

Input Impedance: 1M Ω

Output Impedance : 1k Ω

Current : 100mA

Dimensions : 127mm x 95mm x 56mm

Thanks, and enjoy!

david@drolofx.com

<https://www.drolofx.com>